



私たちは
おおさか民医連
Osaka Min-iren



大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2018年、連合会設立65周年を迎えました。現在、4つの病院、48の診療所、7つの歯科診療所、20の訪問看護ステーション、36の保険薬局、2つの老健施設、薬剤・診療材料センター、1つの看護専門学校、検査センター、在宅看護支援センターそして社会医学研究所が、大阪民医連に加盟しています(2020年12月現在)。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

※医学生センターは、阿倍野医学生センター(市大近辺)、枚方医学生センター(関西医科大学近辺)、狭山医学生センター(近大近辺)の3つです。

奨学金 制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金(月額)

| | | | | | | |
|------|--------------|---------|-------|---------|-------|---------|
| Aコース | 1~2年生 | 50,000円 | 3~4年生 | 60,000円 | 5~6年生 | 70,000円 |
| Bコース | 全学年 100,000円 | | | | | |

他の奨学金と併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介(詳細は各病院のHPをご覧ください)



耳原総合病院 (病床数 386床)

- 大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501代
- 南海高野線堺東駅よりバス10分



西淀病院 (病床数 218床)

- 大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
- JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院 (病床数 99床)

- 東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
- 近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院 (病床数 166床)

- 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
- 地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分



はじめまして民医連です

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。

それから60年余り、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってまいりました。

最も困難な人たちの立場に立って、寄り添う。

設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を(※1)頂いていません。また、無料低額診療にも(※2)取り組んでいます。これは、「お金のあななしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

※1…医療保険外の実費負担費用。病院によって金額は異なる ※2…低所得者などに無料または低額な料金で行う診療

民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめる、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめる、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会



コロナ禍における 医学生生活

特集

部活動編

実習編

コロナ

医ゼミ編

コロナモンス編

新型コロナウイルス感染症の影響により、全世界、日本、そして医学生の学校生活は一瞬にして様変わりしました。

臨床実習に参加できない高学年、ほとんどキャンパスに足を踏み入れたことのない新入生、慣れないオンライン授業や試験など様々な変化が起こっています。

しかし、医学生は前向きにこうした変化に対応し新たな生活様式を作り出しています。

そんな医学生のコロナ禍における授業や実習、部活動、そして学生の自主的な学びの活動について紹介したいと思います。

民医連の組織現勢

| 全日本民医連加盟事業所数 (2019.1現在) | |
|-------------------------|--------------|
| 病院 | 142 |
| 有床診療所 | 14 |
| 無床診療所 | 480 |
| 歯科 | 82 |
| 訪問看護ステーション | 247 |
| 保険薬局 | 352 |
| 薬剤・診療材料センター | 34 |
| 看護・介護学校 | 8 |
| 検査センター | 2 |
| 老人保健施設 | 52 |
| 在宅介護支援センター | 24 |
| 特別養護老人ホーム | 37 |
| 鍼灸所 | 3 |
| 研究所 | 2 |
| ヘルパーステーション | 55 |
| グループホーム | 23 |
| 在宅介護福祉関係施設 | 213 |
| ケアハウス | 11 |
| その他 | 13 |
| 合計 | 1,794 |

主な医療団体との比較

| 職員数 | | 1日平均の入院患者数 | |
|-------------|--------------------|------------|-----------------|
| 民医連 | 82,330 (2017.10.1) | 民医連 | 23,068 (2017年度) |
| 日赤 | 58,349 (2017.4.14) | 日赤 | 29,000 (2017年度) |
| 厚生連 | 54,418 (2018.3) | 厚生連 | 26,673 (2016年度) |
| 済生会 | 60,000 (2018.3) | 済生会 | 18,273 (2016年度) |
| 1日平均の外来患者数 | | 病院数 | |
| 民医連 | 68,696 (2017年度) | 民医連 | 142 (2017.12) |
| 日赤 | 67,000 (2017年度) | 日赤 | 92 (2017.3) |
| 厚生連 | 47,287 (2016年度) | 厚生連 | 107 (2018.3) |
| 済生会 | 27,780 (2016年度) | 済生会 | 80 (2018.3) |
| 訪問看護ステーション数 | | 病床総数 | |
| 民医連 | 247 (2019.1) | 民医連 | 24,109 (2017年度) |
| 日赤 | 46 (2016.1) | 日赤 | 36,317 (2018.3) |
| 厚生連 | 100 (2018.3) | 厚生連 | 33,794 (2018.3) |
| 済生会 | 57 (2018.3) | 済生会 | 22,227 (2018.3) |
| 診療所数 | | (調査日) | |
| 民医連 | 494 (歯科除く) | | |
| 日赤 | 5 | | |
| 厚生連 | 64 (2018.3) | | |
| 済生会 | 17 (2018.3) | | |

学生生活について

About
Collage life



大阪市立大学医学部2年
芥子のぞみ (清風南海高校出身)

みなさん、こんにちは。大阪市立大学医学部2回生の芥子のぞみです。これから、コロナ禍の学生生活について紹介したいと思います。

私の大学では、4月からの前期の授業・テストは全てオンライン、病院実習なども全てレポート課題に変わりました。6月ごろからは、時間の制限はあるものの、部活動が再開し、9月からの解剖実習や組織実習は、密を避けて行っています。実習は限られた時間に集中してこなさないといけないので、予習復習を徹底し勉強しています。2年生の授業では、解剖学や生理学を学ぶため、筋肉・骨・ホルモンの名前や人体の複雑な仕組みをたくさん覚える必要があります。人の体はうまくできているなど感心する一方で、正確に覚えるのにはとても苦労しています。

また、勉強面以外では新型コロナウイルス感染症の影響で部活の試合がなくなったり、先輩、後輩や友達と自由に旅行に行くことができず、長期休暇中の楽しみがなくなり、すこし窮屈な生活を送っています。しかし、趣味や大学以外の勉強に費やす時間が増え、私の場合は料理を作ったり普段は読まない洋書に挑戦したりと時間をうまく

使い過ごしています。また、医学生向けの勉強会や講演会などのイベントのほとんどがオンラインで開催されるため、いつもは現地に行かないと参加できなかったものが自宅から参加でき、有名な先生のご講演や新型コロナウイルス感染症に関する医学的な情報、大学では学べない知識を得ることができる状況になっています。企画後には交流会などもあり、全国の方と繋がることができ、みなさんが新型コロナウイルス感染症の影響で制限はあるものの、多方面で活躍されていることを知り、自分も負けてられないと、とても刺激になっています。

高校生のみなさんも、学校が休校になり、例年とは違うことが続いていると思います。長期休暇中に海外での経験を積むために留学を考えていた人もいるのではないのでしょうか。私も高校生の時は、海外に留学したり、興味のある課外活動に積極的に参加していました。今は実際に足を運ぶことはできませんが、オンラインで多方面で活躍するたくさんの人とつながり、様々な刺激を受け、自分の夢を追い続けて欲しいです。最後まであきらめずに頑張ってください。応援しています。





滋賀医科大学医学部4年
比嘉貴子 (清教学園高校出身)

部活動について

About
Club activities

こんにちは。滋賀医科大学4年の比嘉貴子といます。私は大学で複数の部活・サークル(園芸部、ワンゲル、救急医療学習会、漢方研究会、メンタルヘルス研究会、ESS、学習ボランティアサークル)をかけもちしていて、園芸部では部長をやっています。私がこれらの部活・サークルに入ったきっかけは各々の活動に興味を持ったからです。入部して他学年のつながりもでき、部活・サークルの時間以外でもとても楽しく過ごしています。

今年の前半は新型コロナウイルス感染症の影響であまり部活動ができず、特に園芸部では野菜をあまり植えることができませんでしたが、それでも新歓チラシの配布やZoom説明会を行うなど、コロナ禍でもできることをしたおかげで新入生がたくさん入ってくれました。その中に民医連の活動で知り合った学生も入部してくれて、一緒に活動を楽しんでいます。試験前に部活があつて大変なこともあります。それ以上に同じ目的を持った仲間とつながれるのが部活・サークルの醍醐味だと思います。また卒業して医師になってからも協力し合える仲間になるので、入学したらぜひ活動内容や活動頻度が自分にあつた部活・サークルに入って学生生活をエンジョイしてください！

実習について



大阪市立大学医学部4年
田畑治希 (茨木高校出身)

About
Training

新型コロナウイルス感染症によって大学生活は一変してしまいました。私は今年度4回生で、全国統一の試験であるCBT(知識を問う試験)やOSCE(技術を問う試験)がある重要な年度でした。1月より始まっていた臓器別講義(呼吸器、循環器、消化器などの病気に関する講義)は途中から全てオンライン講義へと差し替えられてしまいました。学生も先生方も慣れない形式ながら、オンラインのメリットも見出しつつ乗り切り、例年通りCBTを終えることができました。

また、臓器別講義と重なるようにして9月初めより始まった実習は、OSCEや病院実習のための実習でした。採血を始めとして、縫合や救急救命など、多岐にわたる臨床的演技に関して、実際の道具を使用し、臨床現場で活躍されている先生方から指導を受けました。もちろん、例年のように1学年一斉に実習することはできず、感染対策を徹底した上で、1学年を10グループほどに分けて行いました。例年の何倍もの時間を使っていた先生方には感謝してもしきれません。

このように、今回の騒動の中で、例年と全く同じような学習はできないにせよ、先生方や様々な人達の協力の上で、十分な学習ができています。私としては、来年度からは病院実習が始まるため、より一層気を引き締めていこうと思っています。

医ゼミについて

島根大学医学部2年
西上 あゆみ (泉陽高校出身)

About
Medical student
seminar

みなさん、医ゼミを知っていますか？

医ゼミは、医療系学生の自主ゼミで、「良い医療者になりたい、交流したい」という思いにより行われています。今年は、9月にオンラインで、全国医学生ゼミナール(医ゼミ)が行われました。これは、66年の歴史の中で初めてのことで、困難がありながら、皆さんの協力のおかげで開催することができました。どのようなものだったか紹介させていただきます。今年の医ゼミは、群馬大学を開催校としてZoom、remoを使って、オンラインで行われました。3日間を通して全国から300人以上の参加があり、全国の学生、医療関係者の方々が参加してくれました。

講演会では、新型コロナウイルス感染症の最新の情報やアフガニスタンへの支援のお話を聞かせていただきました。

医ゼミでは、毎年2種類のレポートを作成します。メインのレポートでは、差別する原因はどこにあるのか、他者を理解するためにはどうすればいいのかを考えました。平和を考えるレポートでは、中村哲先生の追悼企画として、中村先生の成したことから何を学べるかを考えました。人生観が変わったという感想が出るくらい、濃い内容でした。休憩時間も、参加者を身近に感じ楽しく過ごしたいと、方言クイズや、名産紹介で盛り上がりました。参加者からは、「オンラインならではの企画が多く、楽しめた」「オンラインだったから参加できた」などのポジティブな感想が聞かれました。一方で、来年は直接会いたいなあとという会話がたくさん聞かれました。一人ひとりの心に残る医ゼミになったのではないのでしょうか。是非来年は、一緒に医ゼミで学びましょう。



KONAMONS 中村哲先生追悼企画

関西医科大学医学部4年(関西医ゼミに行く会)
緒方 隼 (三国丘高校出身)

KONAMONSとは、「Kansai Overeager No border Student's Association of Medical Oriented Nations」の略で、「医療者に対して関心を持っている、関西の情熱的学境なき学生団体」という意味です。この名前に表されているように、関西圏全域の医療系学生を中心に、「よりよい医療ってなんだろう？」、「よりよい医療者になるために今何を学ぼう？」を考える場を定期的に作っています。

また、毎夏開催される「全国医学生ゼミナール(医ゼミ)」にも毎年数名参加し、夏前までの学習をベースに分科会の発表を行っています。

アフガニスタンで医療活動と農業復興に取り組んでおられたベシヤワール会の中村哲先生が、凶弾に倒れたとのニュースが入ったのが1年ほど前のことです。世界に偉人は数多くとも、誠実かつ人間の生活に寄り添った医療者として、マザー・テレサやシュヴァイツァー博士に並ぶ賢者として、日本が世界に誇る医師であったと思います。

今年の第63回群馬医ゼミ(オンライン開催)では、追悼企画として中村先生の足跡を辿り、そこからわれわれ次世代の医療者が引き継いでいくものはなんだろうかということを考えました。

中村先生から様々なこと学べると思いますが、地に足をつけて物事を見る視点、人間にとって最も重要なものは何かを起点に他者と信頼を築いていく姿勢は、どのような状況にあっても全ての医療者が共有できる在り方だと思います。新たな感染症の広がりの中で様々な困難や分断がさらに生まれていくかもしれません。中村哲先生がその生涯を通じて私たちに示してくれたものを引き継いでいくことは、後に続く日本の医療者としてのミッションであるように感じました。(医ゼミの詳しい内容が知りたい、中村先生についての学習をしたいという方は、ogedankenfolge@icloud.com にご連絡ください)



第63回 群馬「医ゼミオンライン」画面より

(註) 毎年の医ゼミは主幹大学に全国からわらわらと医療系学生の学生が集まって作り上げるのですが、今年の状況を踏まえてオンライン開催となりました。どうなるかは下キドキだったので、企画準備の学習も本番も思いのほか順調に運び、最終的な参加者が300名を超えるという状況となりました。



●「なにわの医療道場」毎月開催

第4木曜日に学習会を開催しています。この学習会は11月で29回目となり、現在は

大阪市立大学医学部より徒歩3分ほどの所に阿倍野医学生サポートセンターがあり、主に医学生向けに学習会や高校生向け企画を開催しています。普段であれば大阪市立大学に通う医学生が中心に集まり交流しています。現在は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインをフル活用して、なにわの医療道場という学習会を行っています。今回はその様子を紹介したいと思います。



第28回ケアマネジャー講演の様子



第26回医師講演の様子

参加者からは「医師からは現場のリアルな話を聞けるし、多職種の方からは名前には聞いたことはあるが実際にどういう仕事をしているかを詳しく聞けるのでとても勉強になる」という感想が非常に多いです。また動画も撮っているの当日参加できなかった方も後日視聴できるようにしています。今後も様々な医療・介護現場からの発信をしていく予定です。学習会に関してHP、SNS等で随時、案内を出していますので、ご興味のある方は是非ご連絡ください。



阿倍野サポートセンター「第29回オンラインなにわの医療道場」の様子

大阪民医連
阿倍野医学生サポートセンター
〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-1-17 サンビル阿倍野4階
TEL: 06-6268-3970 (代)
E-mail: igakusei@oskmin.com

新型コロナウイルス感染症の影響により、サポートセンターの運営状況が変更になる場合があります。ご興味のある方はお問い合わせください。

| | | |
|-----|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3月 | 第21回 | 講師：大阪社会医学研究所所長 中村賢治医師 「過労死問題」 感想：事例を通して過酷な労働状況を学んだ |
| 4月 | 第22回 | 講師：大阪社会医学研究所所長 中村賢治医師 「新型コロナウイルス感染症が引き起こす心理的反応について」 感想：未知のものに対する不安や恐怖から嫌悪・差別・偏見が引き起こされることを知った |
| 5月 | 第23回 | 講師：大阪社会医学研究所所長 中村賢治医師 「コロナ禍で自分たちができること」 感想：学生にできることは少ないが現状を正しく知ることはできる |
| 7月 | 第24回 | 講師：西淀病院 看護師 「新型コロナウイルス感染症対応の取り組み」 感想：医師よりも患者さんと接する機会の多い看護師の話は参考になった |
| | 第25回 | 講師：大阪府下 保健師 「保健所の新型コロナウイルス感染症対応について」 感想：保健所の過酷な現状を知り公衆衛生の大切さを知った |
| 8月 | 第26回 | 講師：八尾クリニック所長 大井医師 「安楽死について」 感想：死を助けるのではなく、生きる力を一緒に探したいと思った |
| 9月 | 第27回 | 講師：耳原総合病院 産婦人科 高木医師・助産師 「産婦人科のチーム医療について」 感想：医師ができることは限られている、チームで協力することがとても大切 |
| 10月 | 第28回 | 講師：ケアプランセンターさくら ケアマネジャー 「ケアマネ・介護現場の話」 感想：ケアマネの仕事は利用者の人生に寄り添えるやりがいのある仕事だと分かった |
| 11月 | 第29回 | 講師：吉田病院 精神科 原澤医師 「ふつうってどういうこと？」 感想：精神科の奥深さを知ったり、「ふつう」という事を考えさせられた |

コロナ禍によって医学生がなかなか医療現場に足を運べないことから様々な医療現場を知ってもらうという趣旨で医学生・高校生向けにオンライン会議システムの

Zoomを使って行っています。講演後はディスカッションを行ったり質疑応答の時間をしっかりとったりするなど、講師に合わせた対応しています。

なにわの医療道場「こんなコト聞きたい」大募集!



なにわの医療道場では、テーマを変えて医師を目指す方たちへメッセージを掲載しています。技術的なことだけでなく、「医師にとっての志」「社会の中での医師の役割」など、テーマは多数。取り上げてほしいテーマなどございましたら大阪民医連までご連絡ください。

大阪民主医療機関連合会（大阪民医連）
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL：06-6268-3970 FAX：06-6268-3977
E-mail：igakusei@oskmin.com

“勉強をやめたくなったときは白衣姿の自分を想像！”

夢をあきらめないあなたへ 先輩からの応援メッセージ!!

僕は祖母が看護師をやっている幼い頃に人体について教えてもらっていました。それがきっかけで医学に興味を持ち自然と医学部を志していました。

受験生活を改めて振り返ってみて、医学部受験対策には2つ重要なポイントがあると気づきました。

1つ目、苦手科目をなくしどの科目も満遍なく点数をとれるようにしておくことが重要だと思います。苦手科目には抵抗を感じるかもしれませんが、基礎からやり直していけばいつのまにか得意科目になっているでしょう。僕は数学が苦手でしたので、網羅系参考書や塾のテキストを何周もしました。

2つ目、自信を持つことです。医学部受験には、点数を高く取らないといけないというプレッシャーや難しい問題を解かないといけないというプレッシャーがあると思います。そのような状況で大事なものは自信です。たとえ成績が伸びない状況であっても、もともと成績が悪かった人でも、しっかり勉強してこれだけの力が必ずついているはずですよ。自分を信じて勉強を続けましょう（ただし自分を過信して勉強をしないというのは良くありません）。

これらのポイントは受験だけでなく将来患者さんと対面した時にも重要だと思います。苦手分野があり自信なさげなお医者さんに診てもらいたいという患者さんはいるでしょうか？ 将来のためにもぜひこの2つを実践してほしいと思います。

勉強をやめたくなったら時は白衣を着ている自分を想像してみてください。それが現実になるかどうかは今の頑張り次第です。

頑張ってください!!



東北大学医学部1年
になったゆう
新田 友海 (灘高校出身)

申し込み
方法

医師体験



イベント



または

医学生・研修医ドットコム 検索

<http://www.oskmin-igakusei.com/>

医学部をめざす

高校生・受験生のみなさんへ
未来の医師を応援



医師体験

日曜・祝日などを除く診療を行っている日であれば、いつでも受け入れを行っています（土曜日は要相談、年末年始は診療を行っていないため受け入れ不可）。日本各地にある民医連加盟の病院や診療所で医師体験を実施しています。お近くの事業所をご紹介しますのでお気軽にご相談ください。医師体験では医師との懇談や診察見学、病院・診療所の検査機器などの見学やオペ室見学、時にはカンファレンスに参加したり、訪問診療で患者さんのお家に伺ったり、あまり見ることのない医師の働き方を知ることができます。また、介護施設などの福祉施設見学もできますので、事前に興味のあることを教えてください。

※現在は東大阪生協病院と一部の診療所で感染対策を徹底した上でおこなっております。

医学生と
しゃべり場

6月と10月に開催しています。様々な大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざっくばらんに話することができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。医師の講演会もありますので医学生と一緒に学べる企画です。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中！

※現在はオンラインで随時おこなっております。



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「安楽死」や「セクシャルマイノリティ」などをテーマに学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか？」「家族の立場なら？」「お医者さんの立場なら？」と、様々な立場での視点でディスカッションをします。自分の意見をしっかりと伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師や医学生との交流もしっかりできます。

※現在はオンラインでおこなっております。

医療・倫理
セミナー



医師講演会



今年は医師講演会を夏に合計4回オンラインで行いました。コロナ禍での医療現場のリアルや若手医師から医師を目指したきっかけややりがいなどを講演してもらいました。オンラインなどで気軽に参加できます。また関西以外の高校生も多数参加してくれました。今後もオンラインをフル活用して開催していきます。

模擬面接会



推薦入試とセンター試験後の時期に開催。

「面接とは？」のレクチャーの後、医師と管理職のプロの面接官を前に面接を行います。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行います。交流会では参加者や医師との交流も行います。

※現在はオンラインでおこなっております。

その他、合格おめでとう会 & 入学前実習や
さまざまなボランティア活動もやっています!!

国試対策にも役立つ なるほど道場

国試対策も役立つ問題を3問出題します。正解者の中から抽選で10名様に「Quoカード1000円分」をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クイズの正解は次号で発表します。

締め切り 2021年6月30日(水)

今回の出題

Q1 予防接種法に基づく定期接種の対象にならないのは？

- a 58歳心機能低下がある男性
- b 70歳特に既往のない女性
- c 63歳COPDの診断を受けている男性

Q2 2019年の3大死因ではないのは？

- a 悪性新生物
- b 心疾患
- c 脳血管疾患

Q3 健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを何という？

- a イレウス
- b フレイル
- c インフル

出題して下さる先生

ほそたに まさみ
細谷 聖美

(大手前高校出身)

PROFILE ● 三重大医学部2020年卒業、
同年4月耳原総合病院にて初期研修開始



応募方法

応募締め切り：2021年6月30日(水) E-mail送り先：igakusei@oskmin.com 「なるほど道場」プレゼント係
応募方法：①～③までの答えを明記し「お名前」「ご住所」「電話番号」「大学名・学年」「取り上げてほしい記事」を記入し、左のE-mailアドレスまで送信するか同封のはがきにご記入のうえ下記住所までお送りください。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

- 大阪民主医療機関連合会 (大阪民医連)
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階 TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977

No.74の答え Q1. 常識◎です Q2. ちょっとふざけましたがオンラインのb◎です
Q3. ガチで国試にでるなら予想しました。◎の始めた時期は無関係です。bから◎の問題がすべてあって12ヶ月以上継続してればゲーム障害の診断になります。

ええやん!

皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん!」をお願いします。



@osaka.miniren.igakusei



@oskmin_igakusei



医学生・
研修医.com



<http://www.oskmin-igakusei.com/>

